

# 一般廃棄物処理基本計画等に係るアンケート調査結果をお知らせします

下野市では、環境保全やごみ処理を計画的に進めるため、「一般廃棄物処理基本計画」及び「ごみ減量化計画」の策定を進めています。

これらの策定のために、ごみ処理に対する市民の皆様方の現状やお考え等を確認し、「一般廃棄物処理基本計画」等に反映させることを目的としてアンケート調査を実施させていただきました。

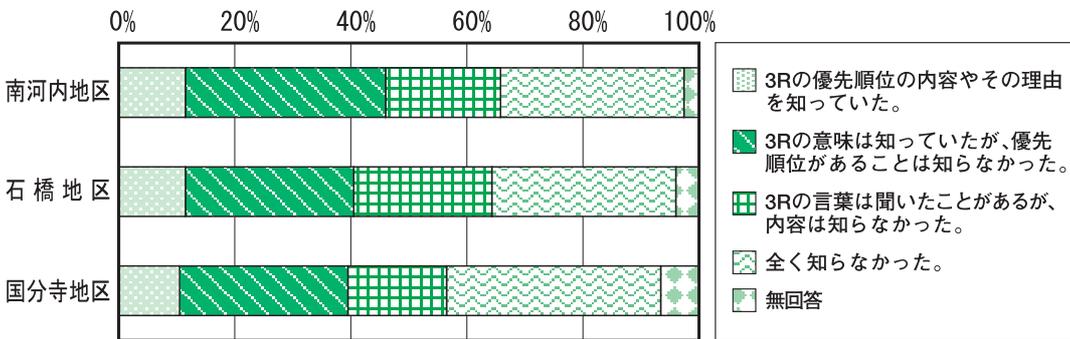
このたびアンケートの結果がまとまりましたので、今月号と来月号の2回に分けて結果の概要をご報告します。

## 【調査方法】

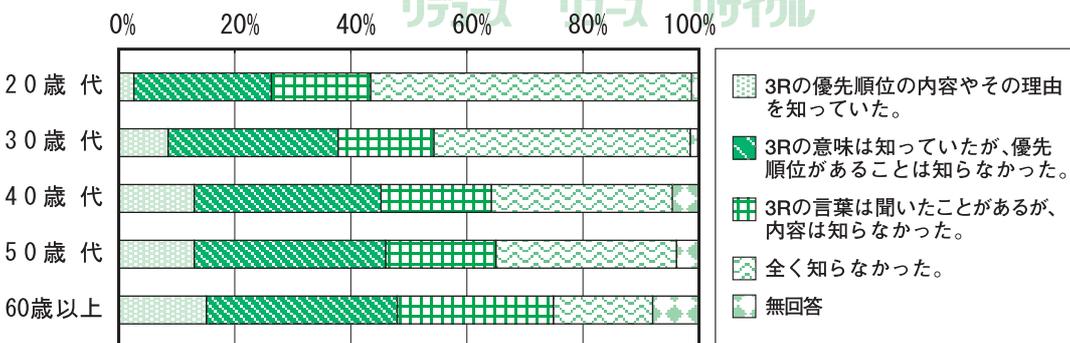
市内在住の20歳以上の市民2,000人を無作為抽出し、7月上旬に調査票を郵送、8月5日までに返送されたものについて集計しました。有効回収数は836通、回収率は41.8%でした。

## 【回答者内訳】

回答者は、男性が4割、女性が6割を占めました。  
年齢は50歳～60歳が多く、このうち4分の1が50歳でした。  
職業は会社員が最も多く、次いで主婦の順となりました。



3地区とも約4割の方が3Rの意味をご存知でした。



年齢別で見ると、20歳代で『全く知らなかった』との回答が半数を超え、年齢が上がるほど認知度が高くなっています。

## ごみの3R(リデュース・リユース・リサイクル)の認知度について

ごみの減量化と循環型社会構築を目指すためには、リデュース(ごみを減らす)、リユース(再利用する)、リサイクル(再生する)の3R運動を進めていくことが重要です。3Rの認知度について、地区・年齢別に集計しました。